

■「人権・福祉」を柱に「地域の人と関わる」学校づくり(草津中学校)

1 【活動の趣旨】

本校の教育目標である「いのちかがやき 心豊かな生徒の育成」を目指して、生徒がより身近に、より実践的に深く学ぶための授業づくりを行う。

2 【特徴的な活動内容】

○書写教室

地域の先生をお招きして、全クラスが書写の活動を行った。昨年度はコロナ禍により、一部の学年のみの実施であったが、今年度は全学年で実施することができた。

○福祉体験学習

1年生では、車椅子バスケットボール講演会、車椅子体験や高齢者疑似体験などを通して、バリアフリーやダイバーシティの考え方について理解を深めた。

○ようこそ先生(人権講話)

3年生では、「同和問題学習」のため、同和地区に暮らすご夫婦をお呼びし、ありのままの様子を語っていただくことで、生徒がより身近に同和問題について考える機会とした。

○箏教室

草津中学校の卒業生である地域の先生に来ていただいて、箏の教室を実施した。生の箏の音に触れるよい機会となった。

3 【実施に当たっての工夫】

発信や行動化で工夫したポイントとして、2年生の職場体験では、まちづくりセンターに参加した生徒が、リーフレットを作成し、活動の内容を地域に発信した。また、事後のまとめ新聞を作成し、学年全体で共有することで、生徒が参加していない他の事業所についても知ることができた。

4 【事業の成果】

コロナ禍の中で、中止になっていた活動が今年度は複数復活し、実施することができた。中でも「箏教室」は和楽器の演奏を聴くだけではなく、実際に弾くことも体験できた。

5 【事業実施上の課題・今後の連携・協働活動実施に向けて】

来年度は教科横断型によるESDカレンダーの再編成と総合的な学習の時間を新たに「観光」をテーマに実施する。コミュニティ・スクールや地域協働合校との一体化についても実施していく教職員が共通理解を持って柔軟に対応していきたい。



【書写教室】



【車椅子バスケットボール】



【ようこそ先生】



【箏教室】